

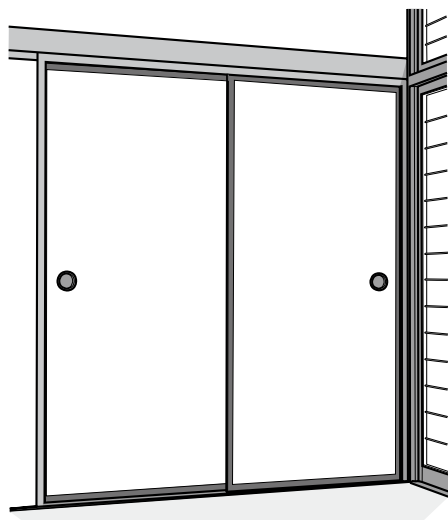


トステム株式会社

リビング建材

和室用建具(新和風SL)和襖開き戸・引戸

取扱い説明書



■目次

■重要なお知らせ	1
■用語の意味	1
■和襖開き戸／扉の取外し方・取付け方について	2
■和襖開き戸／調整方法について	2・3
■和襖引戸／調整方法について	3
■襖紙(シート)の張替え方法について(開き戸・引戸共通)	4・5
■商品保証について	6

■重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。

「リビング建材商品」のご使用およびお手入れの際は、必ずこの「取扱い説明書」に従ってください。


もしこの「取扱い説明書」に従わず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、トステム株式会社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この「取扱い説明書」の他にも、あらゆる危険が想定されます。

したがって、「リビング建材商品」のご使用およびお手入れの際は、この「取扱い説明書」の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。

2.この「取扱い説明書」は著作権を有し、その権利は留保されています。


3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お買い求めの工務店・販売店 又はトステム(株)お客さま相談室	TEL(03)3638-8181  (0120)126-001

■用語の意味

※この取扱い説明書では、「リビング建材商品」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度(又は事故の大きさ)によって、次の2段階に分類しています。用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

警告用語	意味
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合に用います。

■和襖開き戸 扉の取外し方・取付け方について

1 扉の取外し方

【扉の取外し方順序】

- 本体側の上下の丁番を止めているねじをゆるめ、本体を外します。

お願い

※トラスM4ねじはゆるめないでください。ゆるめると裏板が外れて取付けできなくなります。

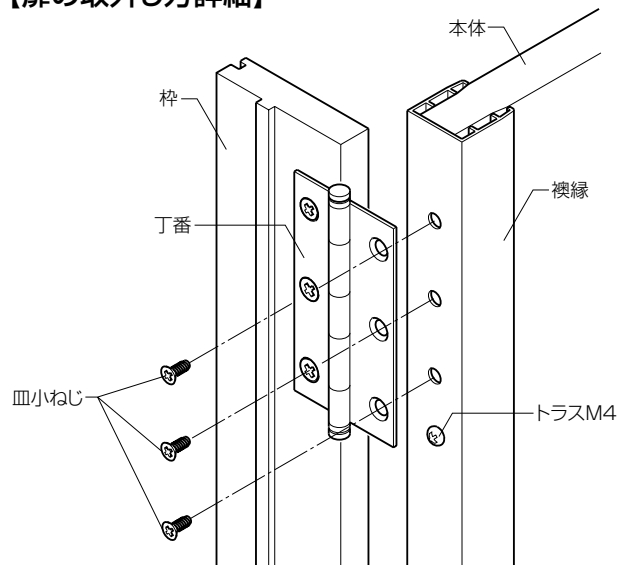
2 扉の取付け方

【扉の取付け方順序】

- 枠に取付いている丁番に本体を取付けます。(右図参照)

※ねじが曲がらないように、又、から回りしないように必ず手回して取付けてください。

【扉の取外し方詳細】



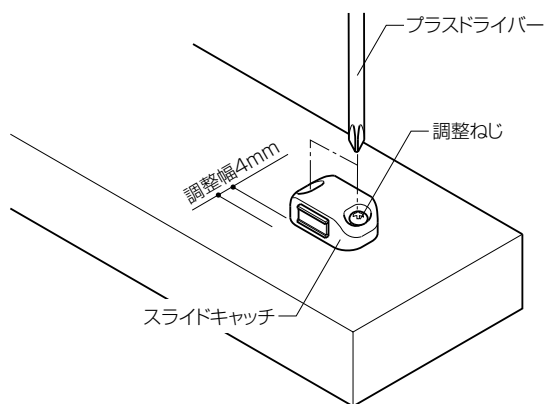
⚠ 注意

- 丁番固定用のねじの締め忘れ・ゆるみなどは、開閉時に扉の脱落の原因となります。固定ねじはガタツキのないように固定してください。

■和襖開き戸 調整方法について

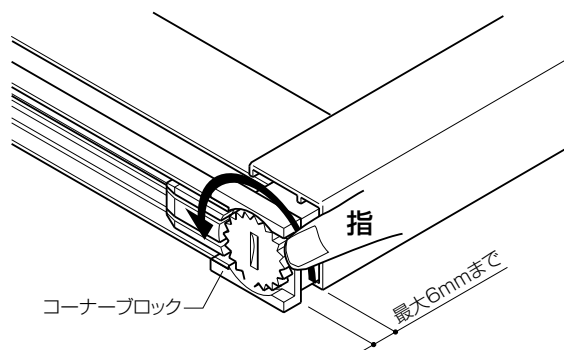
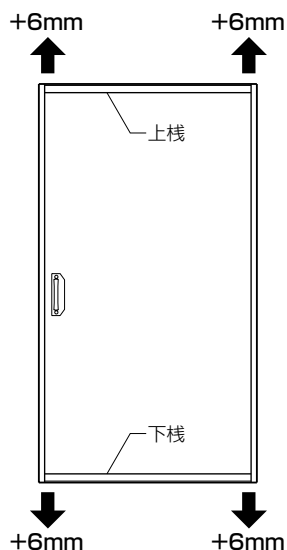
1 マグネットキャッチの調整

- マグネットキャッチが扉をキャッチしない場合、プラスドライバーで調整ねじをゆるめて、マグネットを前後させてください。



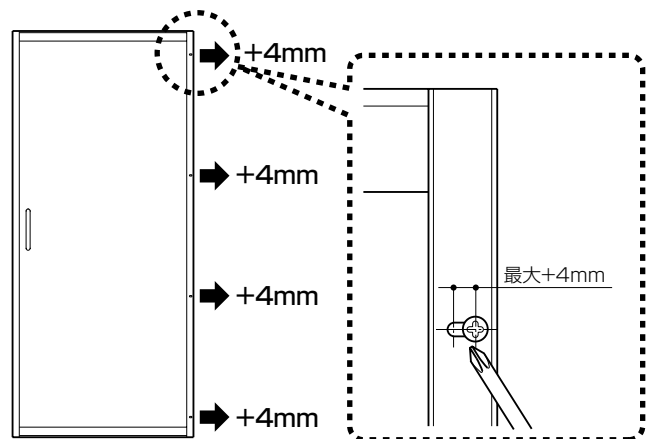
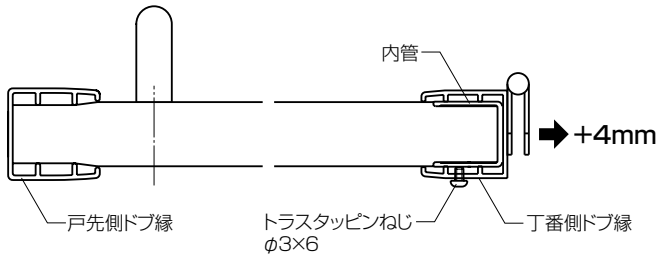
2 上下の建付け調整

- 本体の上下棧には、上下の建付け調整機能が付いています。本体と枠のチリを調整する場合は、下棧の左右のコーナブロックのダイヤルを指で、左に回します。最大+6mmまで調整できます。



3 左右の建付け調整

- 本体の丁番側ドブ縁には、左右の建付け調整機能が付いています。丁番側ドブ縁に付いているねじ(トラスタッピンねじ $\phi 3 \times 6$)をゆるめて、丁番側ドブ縁を外にズラします。最大+4mmまで調整できます。



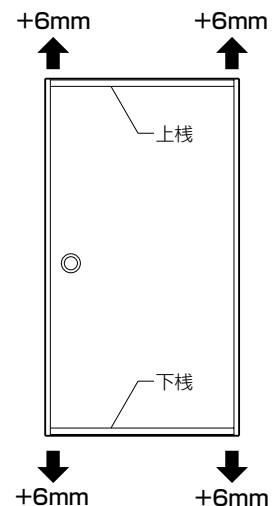
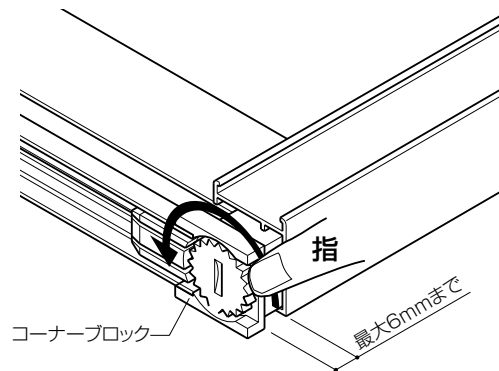
■和襖引戸 調整方法について

1 上下の建付け調整

- 本体の上下棧には、上下の建付け調整機能が付いています。本体の傾きを調整する場合は、下棧の左右のコーナブロックのダイヤルを指で左に回します。最大+6mmまで調整できます。本体の鴨居のかかりが少ない場合は、上棧の左右のコーナブロックのダイヤルを指で左に回します。最大+6mmまで調整できます。なお、回しづらい場合は、マイナスドライバーで回してください。

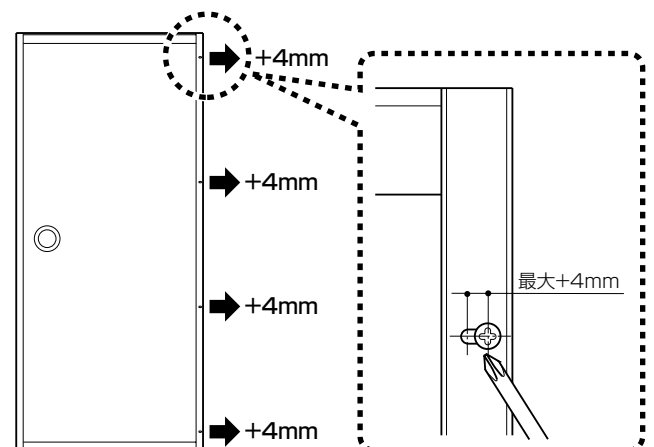
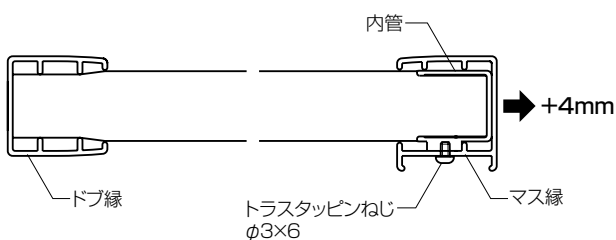
⚠ 注意

- 鴨居と引戸本体は、必ず5mm以上かかるようにしてください。かかりが小さいと開閉中に本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。



2 左右の建付け調整

- 本体のマス縁には、左右の建付け調整機能が付いています。調整方法は調整ねじ(トラスタッピンねじ $\phi 3 \times 6$)をゆるめ、マス縁を外にズラします。最大+4mmまで調整できます。
- 調整終了後は調整ねじを固定してください。



■襖紙(シート)の張替え方法について(開き戸・引戸共通)

1 襖紙(シート)の張替えに必要なもの

- ・鋼製定規(かね尺など) ・カッター
- ・ハケ又は乾いたタオル ・ヘラ ・マスキングテープ
- ・プラスドライバー ・マイナスドライバー ・水
- ・必要幅の襖紙(シート) ・市販の澱粉糊

2 生地タイプ(K-2)現地張りの場合

※現場手配した襖紙を張った場合(K-2)は、次回の張替え時から、上に張増しすることができます。

①本体の襖縁に取付いている上下の丁番の皿小ねじをプラスドライバーで取外します。(開き戸の場合)

※枠側についているねじは取外さないでください。

※襖縁のトラスM4のねじは取外さないでください。(P2「扉の取外し方」参照)

②把手を取外します。(引戸の場合、引手を手で引張って外します。固い場合は、図のように裏面から当て紙をしてマイナスドライバーで少しずつ持ち上げます。)(図-1)

③マス縁の調整ねじを緩め、マス縁を外にズラし最大調整幅(DW+4mm)とします。

④マスキングテープをマス縁に張ってください。

⑤新しい襖紙を張ります。

●新しい襖紙を、上下・左右共に襖より10mmほど大きく裁断します。(予備切断)

⑥本体に襖紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で付けます。

●位置を確認して襖に張付けます。しわが入った所は、もう一度はがして張りなおしてください。次に押えハケか、乾いたタオルで中央から上下左右へ空気を押出すように軽くこすってください。多少のしわやたるみは乾燥すれば直ります。

⑦襖縁に合わせて襖紙をカッターなどで切断します。

(本切断)図に示すように襖縁の内側いっぱいまで襖紙を折返し、かね尺などを当て込み、その上でカッターで切断してください。その際、下地をキズ付けないでください。キズが付くと縁がはずれて使用できなくなるおそれがあります。(図-2)

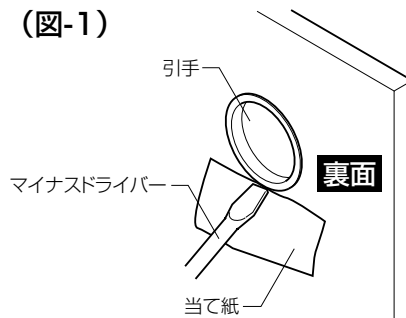
⑧切り代をヘラなどで襖縁の内側に押し込んでください。(図-3)

⑨本体を吊込んで把手を取付けてください。(引戸の場合は、引手を取付けてください。)(図-4)

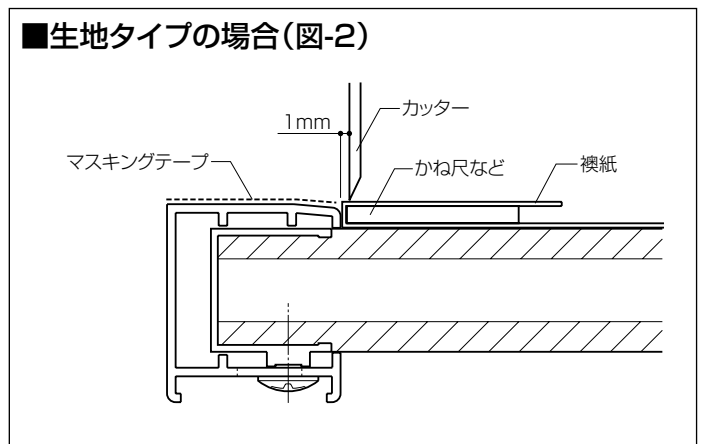
お願い

- 片面をクロス張りにしないでください。ソリが生じます。

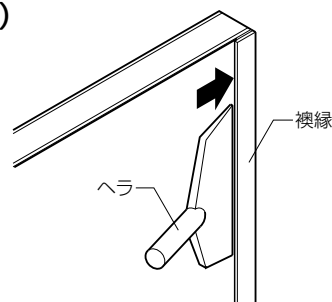
(図-1)



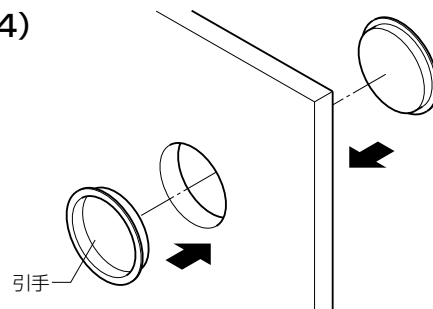
■生地タイプの場合(図-2)



(図-3)



(図-4)



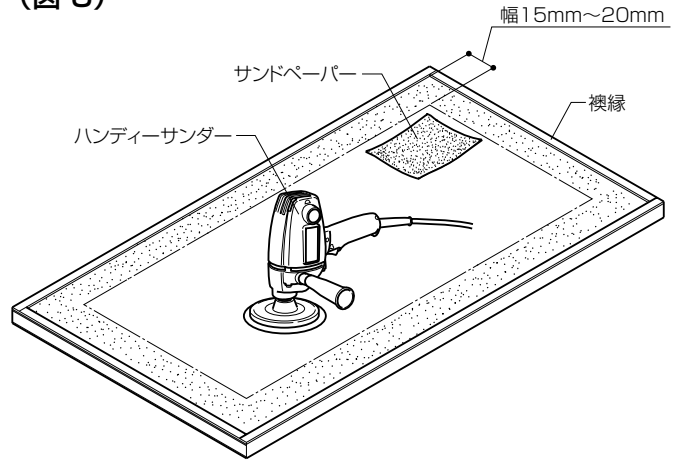
3 既製襖タイプ(K-1、B-1・2、C-1・2)の場合

- ① 本体の襖縁に取付いている上下の丁番の皿小ねじをプラスドライバーで取外します。(開き戸の場合)
※ 枠側についているねじは取外さないでください。
※ 襖縁のトラスM4のねじは取外さないでください。
(P2「扉の取外し方」参照)
- ② 把手を取外します。(引戸の場合、引手を手で引張って外します。固い場合は、図のように裏面から当て紙をしてマイナスドライバーで少しずつ持ち上げます。)(図-1)
- 既製襖タイプは、襖シート表面のコーティング層をはくりし、新しい襖シートを上から重ねて張ります。
- ③ 襖縁を養生するため、マスキングテープを2枚重ねて張ってください。
- ④ 糊の密着性を高めるため、襖シートのコーティング層と着色層をはくりします。
● 襖縁の際からサンドペーパー(手作業)で、襖縁にキズを付けないようにして着色層まではくりします。(幅15mm~20mmで行ってください。)(図-5)
- ハンディーサンダー(サンドペーパーP100又はP180位を取付け)で襖シート全体のはくりをします。
- はくりは着色層がなくなり、シート基材の紙が出てくるまで行きます。襖基材のペーパーハニカム(ダンボール)までにはくりしないでください。
- ⑤ 襖表面に穴があいた場合は、周囲をマスキングテープで養生し、パテ(レスリート/白色)で基材(ペーパーハニカム)内部まですき間なく充てんし、平らにしてください。
- ⑥ 新しい襖シートを張ります。
● 新しい襖シートを上下・左右共に襖より10mmほど大きく裁断します。
● 市販の澱粉糊を襖全体に塗布してください。(糊は「ルーアマイルド」(ヤヨイ化学)をおすすめします。)水との稀釈要領などについては説明書に従ってください。
● 張りはじめに襖の柄が曲がらないようにしてください。又、張りはじめに襖シートがよれるとシートに負荷がかかり、はがれやすくなりますので慎重に行ってください。
● ヘラを使い、余分な空気・糊を外に出して襖シートのしわを取除いてください。
● 襖シートの密着をよくするため、全体をまんべんなく押えます。
● 全体が張り終わったら、襖縁の周囲の入隅分にヘラを使い襖シートを密着させ、余分なシートを入隅に合わせてすき間なくカッターで切断してください。(図-6)
- ⑦ 養生のマスキングテープをはがしてください。
- ⑧ 本体を吊込んで把手を取付けてください。(引戸の場合は、引手を取付けてください。)(図-4)

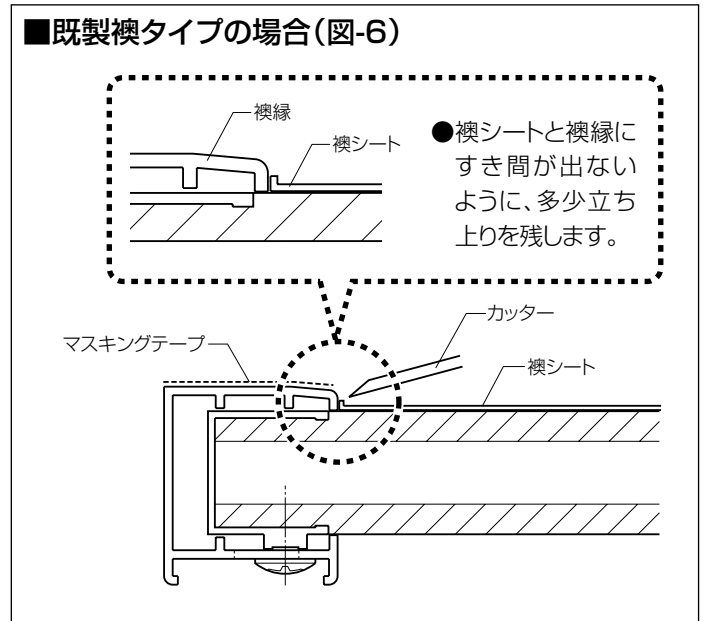
お願い

- 片面をクロス張りにしないでください。ソリが生じます。

(図-5)



■ 既製襖タイプの場合(図-6)



■商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にご相談ください。

■対象商品	リビング建材商品
■保証期間	施工者よりの引渡し日<注1・注2>から2年間(電装部品については1年間)。 <注1>改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。 <注2>分譲住宅(建売住宅)の場合は、建築主さまへの引渡し日とします。
■保証内容	取扱い説明書・本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き、無料修理いたします。
■免責事項	保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。 ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など) ②表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合 ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合 ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩擦など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合 ⑤自然環境や住環境に起因する結露などの不具合 ⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合) ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合 ⑧施工当時実用化されてた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合 ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害 ⑩引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合 ⑪お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合 ⑫本来の使用(一般住宅用)の目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合 ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にお問合わせください。